

1. 操作ボタン

ボタンの種類	機能	ハザード	音	備考
ロックボタン 	ロックし、監視モードになります。	1回	2回	センサー監視オフの場合、音は1回
アンロックボタン 	アンロックし、監視モードを解除します。	3回	3回	監視中異常ありで、音は4回または5回
サーチボタン 	カーサーチ機能 (ハザードが30秒間点滅します。途中 AUX を除くいずれかのボタンを押しても止まります。)	点滅	-	ロケーター機能ともいいます。
AUXボタン 	3接点の外部出力AUXを制御します。	-	-	詳細は内部スイッチの設定を参照。

2. 内部スイッチの設定 (必ず受信機のすべてのコネクタを抜いた状態で設定して下さい。)

スイッチの種類	機能	備考
JP1	AUXの機能切り替え	ショート(黒コネクタ付ける):外部出力AUXをAタイプに設定。 オープン(黒コネクタ外す):外部出力AUXをBタイプに設定。
JP2	警告音のパターン切り替え	ショート(黒コネクタ付ける):音警告回数が増える。 オープン(黒コネクタ外す):警告音量が徐々に大きくなる。

3. 標準機能(標準と記載)と各種オプション(主なものの抜粋)

標準機能とオプション	機能	操作方法
サイレント機能(標準)	ロック・アンロックするときにアンサーバック音を出しません。	サーチボタン ロックまたはアンロックボタン
自動再ロック機能(標準) ドアトリガー線をつないだ場合	アンロックしてから30秒以内にドアを開けないと自動的にロックします。	-
外部出力AUX(標準) 3CHリモコン場合は使用不可	AUXボタンを押している間外部出力リレーがオンになります。(Aタイプ設定)	AUXボタンを必要時間押下
	AUXボタンを1回押すと外部出力リレーがオンし、もう一度押すとオフになります。(Bタイプ設定)	AUXボタン
パニックモード	強制的にサイレンを鳴らしハザードを点滅させます。	ロックボタンのダブルクリック
ボイスアンサーバック	ロック・アンロックしたときに音声でアンサーバックし、音でも警告します。	詳細はボイスモジュールの説明書
パワーウィンドウ連動	ロックボタンを長押しするとウィンドウやサンルーフが閉 アンロックボタンを長押しするとウィンドウやサンルーフが開 車両の仕様による	
トランクオープナー	リモコンでトランクが開けられます。	サーチボタンの長押し(3秒以上)
サンキューウインカー	付属のスイッチを1回押すだけでハザードが3回点滅します。	付属のスイッチ押下
車速ロック	車が走り始めると自動ロックします。	-

4. 接続時の注意事項

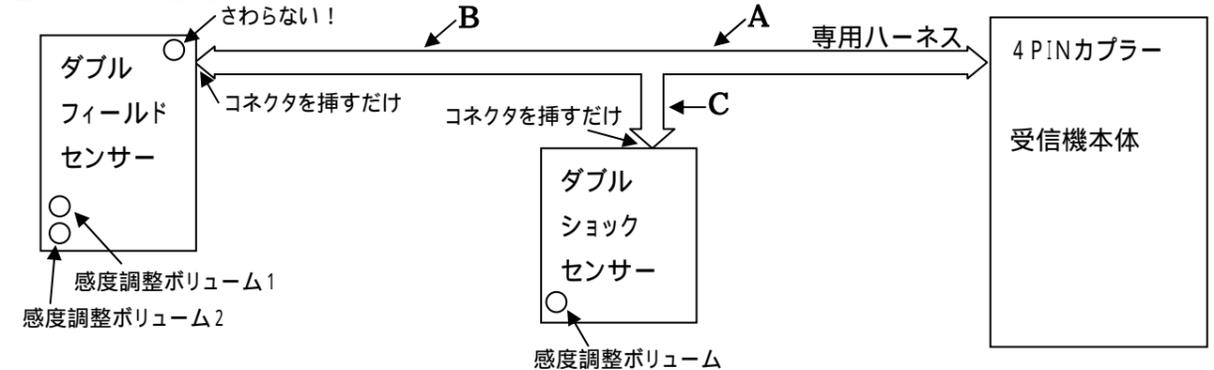
カプラーは、最初にセンサーカプラーと小カプラーを挿し、次に大カプラーを挿してください。内部のコンピューターが学習しますので、2回リレーの音(サイレン)が鳴るまでお待ち下さい。その間、絶対にリモコンや内部スイッチは操作しないで下さい。

5. カプラー信号説明 (キーレス部分は「キーレス基本結線図」参照)

10PIN小カプラーケーブル線色	説明と主な接続先
茶	トランクオープナーNO出力
赤	トランクオープナーCOM出力
橙	トランクオープナーNC出力
黄	AUX外部NO出力
緑	AUX外部COM出力
青	AUX外部NC出力
紫	スキャナー出力(-) スキャナーの黒線へ接続
灰	ボイスモジュールや外部スキャナー出力(-) ボイスモジュールの橙線へ接続。
白	ドアトリガー線(-) 車両のドアを開けたときにアースに落ちる線へ接続。
黒	オプションなし:ACCに接続(エンジン始動中はドアトリガーのみ監視します。) サンキューウインカーの場合:付属のスイッチの片側へ接続 車速ロックの場合:車両の車速出力へ接続
注意事項	ドアトリガー線を接続しない場合は必ずアースに接続してください。 他の線は接続しなくても問題ありませんが、接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。

4ピンセンサーカプラーケーブル線色	説明と主な接続先	
赤	黒	センサー用電源 赤は+12V 黒はアース
青	緑	青は警報信号(重度異常検出)入力 緑は警告信号(軽度異常検出)入力

6. センサーの配線方法



7. ダブルフィールドセンサー・ダブルショックセンサーの設置方法

- フィールドセンサー本体は、車内の中心付近に取り付けてください。樹脂等の裏側でも問題ありません。
注意:車両の両サイドのガラスにプライベートガラスや断熱ガラスなどが使用されていたり、金属含有率の高いウィンドフィルムを貼っている場合は、車外の人を感知できない場合があります。ただし、ドアを開けた瞬間に感知し、サイレンが鳴ります。
- ショックセンサー本体は、強化したい場所(例:運転席ドア等)の近くに取り付けてください。他の場所でもかまいませんが、両面テープでしっかりと固定してください。防音材の上の方が良い場合があります。
- オプションのセンサーオフスイッチを接続するとセンサー機能を任意に制御(オン・オフ)できます。

	赤線を切断してスイッチを接続	青線を切断してスイッチを接続	緑線を切断してスイッチを接続
図のAの場所	両方のセンサーの機能を制御	両方のセンサーの警報を制御	両方のセンサーの警告を制御
図のBの場所	フィールドセンサーの機能を制御	フィールドセンサーの警報を制御	フィールドセンサーの警告を制御
図のCの場所	ショックセンサーの機能を制御	ショックセンサーの警報を制御	ショックセンサーの警告を制御

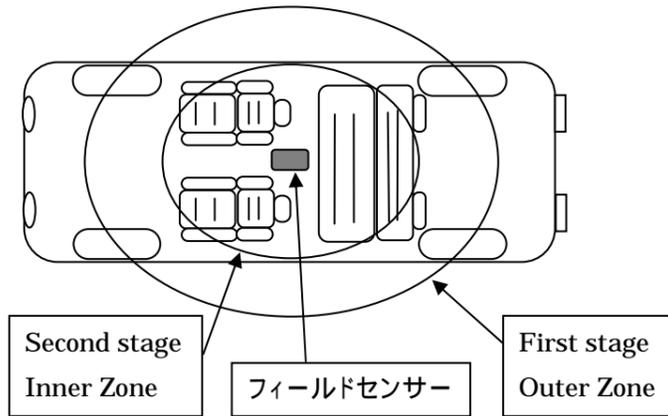
8. 警告と警報の仕様について

- JP2がショートの場合、軽度の異常を検知するとキュ・キュと2回警告音が鳴ります。それから約15秒以内に再度検知した場合、4回警告音が鳴ります。同様に6回、8回と警告音が鳴りますが、次に感知した場合は、約15秒間サイレンが鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。警告してから15秒間何も検知しなかった場合、次の警告は2回から始まります。JP2がオープンの場合、最初から8回警告音を鳴らし、徐々に音量が大きくなります。
- 重度の異常を検知するサイレンが30秒鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。サイレン停止後は、ハザードとスキャナは引き続き60秒間点滅します。
- 警報を途中で解除する場合は、ロック・アンロック・サーチいずれかのボタンを押します。

9. セキュリティ監視方法

ダブルフィールドセンサー

ダブルゾーンで監視しています。外側のゾーンで人を感知するとフィールドセンサーの緑LEDが点灯し警告信号が出ます。内側のゾーンで人を感知するとフィールドセンサーの赤LEDが点灯し警報信号が出ます。(前記参照)
 フィールドセンサーの調整方法は、まず、感度調整ボリューム1で行います。これは、外側のゾーンの調整を行います。右に回すと感度が良くなります。次に感度調整ボリューム2で Second stage (Inner Zone) の感度を調整します。右に回すと感度が良くなります。(いずれも調整ボリュームの真ん中よりやや左が最適な目安です。)



ダブルショックセンサー

衝撃の度合いを2段階で感知します。軽度の衝撃を感知すると警告信号が出ます。大きな衝撃を感知すると警報信号が出ます。

ドアトリガー・ボンネット開センサー

ドアやボンネットが開くと感知し、サイレンが鳴ります。一度感知すると監視モードが解除されるまでドアトリガーの監視は行いません。(ドアを開けられたまま逃走された場合、サイレンが鳴り続けるのを防止するため。ただし、センサー監視は続けます。)ロック中は、ドアトリガー線は常時監視しています。(ドアトリガー異常による警報以降は除く。)

トランクオープン時のセンサー監視

監視中にリモコンでトランクオープンした場合、センサーの監視を停止し、ドアトリガーのみ監視します。(トランクオープン時のショックセンサーの感知を防止します。)ロックボタンを押すと再びセンサー監視を行います。

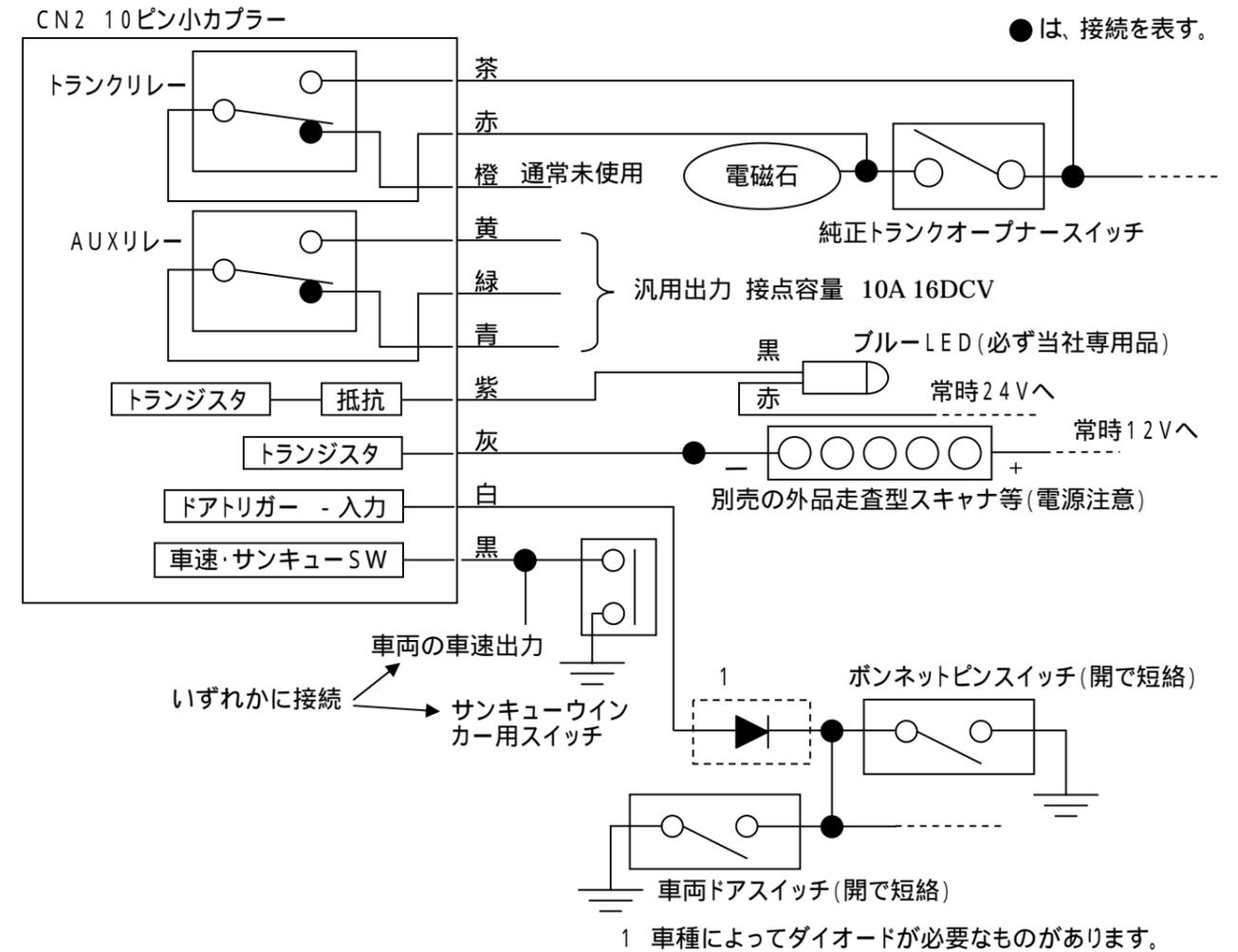
LEDスキャナ

監視中、LEDスキャナが点滅します。センサー監視を行っているときは、明るく点滅します。ドアトリガーのみ監視しているときは、暗く点滅します。

10. セキュリティ監視中にバッテリーを外された場合について

- ロックしてセキュリティ監視中にバッテリーをはずされ、その後バッテリーを接続した場合、警報が30秒間行われます。これにより、セキュリティ解除の目的でバッテリーを外しても、監視が中断されることがありません。また、別売のバックアップサイレンをつなげば、バッテリーをはずしてもサイレンは鳴り続け、より厳重に車両を守ることが可能です。

11. 配線図



CN3 4ピンセンサーコプラ

